

授業科目名 (英訳)	危機管理特論 Emergency Management					担当者所属 職名・氏名	防災研究所 教授 林 春男 防災研究所 助教 鈴木 進吾				
配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期	H27 前期	曜時限	水/1	授業形態	講義	使用言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
<p>東日本大震災の発生など、わが国でも自然災害の発生が頻発化と激化の傾向を示すだけでなく、予想外のさまざまな原因による危機が増発しており行政組織さらには民間組織において危機管理に対する関心が高まっている。危機管理とは「プロセス」であり、危機を管理する水準を継続的に向上させる試みである。わが国の危機管理体制の現状を見ると、災害対策基本法にもとづいて自然災害を対象として整備されている防災体制がもっとも包括的である。本講座ではこうした現状をふまえて、自然災害への対応を基礎としながらどのような原因による危機にも一元的に対応できるわが国の社会風土に適した危機管理体制について考える。危機管理の目標は組織における事業継続である。この講義では、リスク評価→戦略計画の策定→標準的な危機対応システムの構築→研修・訓練というプロセスを連続して回す事による組織の事業継続（Business Continuity Management）を可能にする危機管理の方法について、各回に課すレポートをもとにした討論も交えながら習得する。</p> <p>Damage from disasters is defined by two factors: scale of hazard and social vulnerability. Two strategies exist to reduce damage from disasters - namely, crisis management as a post-event countermeasure and risk management as a pre-event measure. This course introduces students to a system for effective emergency management, consisting of response, recovery, mitigation, and preparedness.</p>											
〔到達目標〕											
<p>危機管理が組織の事業継続を可能にするために継続的に取り組む一連の「プロセス」であることを理解し、そのプロセスを構成する4つの各段階を進める上での考え方とそのポイントを把握する。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>【第1回】危機管理とは：What is emergency management（鈴木進吾）</p> <p>【第2回】組織の事業継続：Business Continuity as a goal of emergency management（林春男）</p> <p>【第3回】危機管理対応の実務を知る1：Case study on emergency management 1（特別講義）</p> <p>【第4回】リスクの同定：Identify Risk（鈴木進吾）【第5回】リスクの評価：Evaluate Risk（鈴木進吾）</p> <p>【第6回】リスクの定量化：Quantities risk analysis（鈴木進吾）</p> <p>【第7回】参画型戦略計画：Participatory Strategic Disaster Reduction Plan（林春男）</p> <p>【第8回】危機管理対応の実務を知る2：Case study on emergency management 2（特別講義）</p> <p>【第9回】ワークショップを利用する戦略計画策定プロセス：Workshop（林春男）</p> <p>【第10回】一元的な危機対応過程：Incident Command System（林春男）</p> <p>【第11回】危機対応のための組織編成と組織運営：Organization Structure of Emergency Response（林春男）</p> <p>【第12回】危機対応のための情報処理：Information Management for Emergency Response（鈴木進吾）</p> <p>【第13回】危機管理対応の実務を知る3：Case study on emergency management 3（特別講義）</p> <p>【第14回】人材育成のための研修・訓練法：Education and Training（林春男）</p> <p>【第15回】レポート試験：Examination（鈴木進吾）</p>											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
<p>各回に小レポートを課す。小レポートはその回答状況と内容から評価する。また、最終回の授業の際に到達目標の達成度をレポート試験で確認し、成績は各回のレポートとレポート試験より総合的に評価する。</p> <p>○各回のレポート課題「授業を聞いて自分にとって発見だったことを3つ、もっと説明してほしいことを1つあげ、その理由を説明しなさい。</p>											

- ・提出様式：以下の要領に従って、メールで回答する。
- 1.address: disaster.reporti2@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp
 - 2.subject: 「危機管理レポート X 月 X 日 学籍番号 氏名」と明記する。
 - 3.添付書類不可
- ・提出期限：翌週火曜日まで

Every after lecture, please submit short report writing following things

- 1) Three points you could learn in this lecture, and reason
- 2) What you would like to explain more?

Please send your short report to following address by following formats

- 1.address: disaster.reporti2@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp
 - 2.subject: 「Emergency Management Report “date” “ID” “Name”
 - 3.No attach file
- ・ Deadline : Tuesday of the next week

[教科書]

京大・NTT リジエンス共同研究グループ、しなやかな社会への試練—東日本大震災を乗り越える、日経BPコンサルティング、2012

林 春男・牧 紀男・田村圭子・井ノ口宗成 Haruo Hayashi et al. 『組織の危機管理入門 リスクにどう立ち向えばいいのか(2008) Risukuni dou tachimukaeba iinoka(2008)(in Japanese)』(丸善(株)出版事業部 Maruzen)

[参考書等]

京大・NTT リジリエンス共同研究グループ Kyoudai NTT resiliency kennkyuu group 『しなやかな社会の創造～災害・危機から生命、生活、事業を守る(2009) Shinayakana syakai no souzou(2009)』(日経BP 企画 Nikkei BP)

トム・デマルコ、ティモシー・リスター 『熊とワルツを(2003)』(日経BP社)

James R. Evans, David L. Olson 『リスク分析・シミュレーション入門 - Crystal Ball を利用したビジネスプランニングの実際 -(1999)』(株式会社構造計画研究所)

Project Management Institute 『A Guide to the Project Management Body of Knowledge 2000Edition(2000)』(Project Management Institute, Inc)

R. Max Wideman 『Risk Management - A guide to Managing Project Risk & Opportunities -(2000)』(Project Management Institute, Inc)

メモリアルコンファレンス・イン神戸実行委員会編 『「12 歳からの被災者学」 (2005) 』(NHK 出版)

林 春男 『いのちを守る地震防災学』(岩波書店,2003)

林 春男 『率先市民主義』(晃洋書房,2001)

[授業外学習（予習・復習）等]

講義の翌週までに各回的小レポートを提出することで復習を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

電子メールによる質問を受け付けています。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASIS で確認してください。

disaster.reporti2@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp